

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0401	空港利用促進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

《事業目的》…何のために行うのか簡潔に目的を記載すること
 関係団体と連携して花巻空港の利用促進を推進する。

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること
 ・羽田便実現のための要望等活動
 ・県空港利用促進協議会等関係団体の活動（航空会社への要望、就航先でのPR活動、国際チャーター便誘致等）への積極的協力
 ・花巻空港への交通アクセスの改善検討等

市民参画の有無 [対象外]

《事業展開の留意事項》…今後の方向性を踏まえ具体的な取り組みを記載すること

《成果指標》…達成度合いを数値で表すこと

項目	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 花巻空港利用者数	人	目標	299,000	344,000	404,000
		実績	334,316	382,446	
② チャーター便利用者数（花巻空港利用者内数）	人	目標	6,000	8,000	20,000
		実績	8,328	10,907	
③ 定期便路線数（国内、国際）	路線	目標	3	3	4
		実績	4	4	

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
暮らし	建設部	都市政策課	筑後貴之	566

	25年度	当初(現計)	補正	25年度	26年度
事業費	1,935				
財源内訳	国県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,935			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

花巻市

- 補助及び連携活動
 - 花巻空港利用促進協議会
 - ＜目的＞ 空港の一層の利用促進を図る
 - ＜事業内容＞ 「空の日」イベント事業への協力等利用促進活動等
 - ＜補助金＞ 300千円
 - ＜事務局＞ 花巻商工会議所
- 連携活動
 - 岩手県空港利用促進協議会
 - ＜目的＞ 県内の航空需要の喚起を図り、航空路線の充実等を促進し、国内外との交流の活性化を通じて県の幅広い発展に資する
 - ＜事業内容＞ 国内定期便利用促進事業、国際チャーター運航拡大事業等
 - ＜負担金＞ 1,500千円
 - ＜事務局＞ 岩手県空港課
- 各関係団体との連携活動
 - 羽田便実現会議
 - ＜目的＞ 花巻～羽田便の運航実現を積極的に推進し、本件の経済発展と国内外の交流拡大に寄与する
 - ＜事業内容＞ 羽田便実現に係る要望、関係機関への積極的な協力等
 - ＜負担金＞ 300千円 (決算額0円)
 - ＜事務局＞ 花巻市秘書政策課
- 国等への要望に係る連携
 - 全国民間空港関係市町村協議会
 - ＜目的＞ 加盟市町村が有する民間空港関連の各種問題を総合的に調査研究し、解決するための方策の推進
 - ＜事業内容＞ 要望活動、空港フォーラム及び研修会の開催等
 - ＜負担金＞ 21千円
 - ＜事務局＞ 兵庫県伊丹市

その他：航空会社への要望等旅費 114千円 (決算額)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [事後評価]

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0401	空港利用促進事業

総合計画	政策	交流・移住人口増加で訪れたい・住みたいまちづくり	施策	2-6	快適で便利な道路網と公共交通体系の構築
------	----	--------------------------	----	-----	---------------------

目的	関係団体と連携して花巻空港の利用促進を推進する。
対象	・観光、ビジネスにおける航空機利用者および空港利用者
意図	観光客やビジネス客が訪れやすいよう、花巻空港の利便性向上を進めるとともに、航空機利用の促進を図り、既存路線の維持・増便や新規路線開拓に繋げる。

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

- ・羽田便実現のための要望等活動
- ・県空港利用促進協議会等関係団体の活動（航空会社への要望、就航先でのPR活動、国際チャーター便誘致等）への積極的協力
- ・花巻空港への交通アクセスの改善検討等

市民参画の有無 [対象外]

市民協働の形態 共催 実行委員会・協議会 事業協力・協定 後援・協賛 補助・助成 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 航空会社、国等への要望活動	回	計画	10	10	10
		実績	3	4	
② 利用促進協議会等関係団体との協議、検討会	回	計画	10	10	10
		実績	5	5	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
① 花巻空港利用者数	人	目標	299,000	344,000	404,000
		実績	334,316	382,446	
② チャーター利用者数（花巻空港利用者内数）	人	目標	6,000	8,000	20,000
		実績	8,328	10,907	
③ 定期便路線数（国内、国際）	路線	目標	3	3	4
		実績	4	4	

要因分析

達成度 目標値より高い 概ね目標値どおり 目標値より低い

- ・名古屋線の増便
- ・福岡線の再開
- ・国際チャーター便の増（東日本大震災後、緩やかにではあるが増傾向）

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

特になし

目的妥当性	公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	ビジネス客、観光客が花巻市に訪れるための公共交通であるが、利用促進等PR活動を展開しないと利用率の低下が懸念され、路線の便数減や運休に繋がる恐れがあることから、岩手県や市、関係機関が連携して利用促進活動に取り組む必要がある。
有効性	成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	花巻空港整備（平行誘導路、チェックインカウンター増築）が終了し、H23.7より供用開始となり、大幅な機能向上が図られた。このことから、国際線のチャーター便就航や定期路線開設に向けた取り組みや、花巻空港の利便性のPRを、関係機関と連携を図りながら進めていく。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	関係団体の活動見直しを提言するなどして一本化できる活動等があれば、負担金補助金を削減する余地はある。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	花巻空港の利便性向上は、花巻空港を利用する全ての方に受益があり、公平・公正である。

《総合評価》…上記評価結果の総括

廃止路線がなかったため主だった要望活動の回数が無くなった。今後、定期台湾便に向けての活動や50周年記念事業にむけた協議、検討会の増加、また空港利用者数、チャーター便利用者の増加は期待される。